

令和 2 年 7 月豪雨に関する期間延長の申出に係る上申書の作成例

【書類名】 上申書  
(【提出日】 令和 年 月 日)  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【事件の表示】  
【出願番号】  
【上申をする者】  
【識別番号】  
【住所又は居所】  
【氏名又は名称】 (印 又は 識別ラベル)  
【代理人】  
【識別番号】  
【住所又は居所】  
【氏名又は名称】 印 又は 識別ラベル  
【上申の内容】  
特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第3条第3項の規定による申出  
期間の延長に係る手続 ○○○○  
申出の理由 令和 2 年 7 月豪雨により、○○県□□市△△に本社を置く出願人「株式会社○○○○」が被災し、社屋が半壊したため業務が継続することができず、手続をすることができなかったので、□□手続に係る期間を延長してください。

※期間の延長が認められるか否かについては、申出の理由に記載された事情により判断されることとなるため、申出に際しては、手続をすることができなかった事情について、可能な限り**具体的**に記載してください。

※拒絶理由通知に対する意見書や手続補正書など、提出すべき書類の作成に発明者が必要である手続において、発明者が被災したことにより手続できなかった場合の「申出の理由」の記載例。

【上申の内容】  
特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第3条第3項の規定による申出  
期間の延長に係る手続 ○○○○

申出の理由 当該出願の出願人である株式会社〇〇〇〇は、本社は東京都〇〇区であるが、令和２年７月豪雨により、□□県〇〇市△△にある研究所が被災し、当該研究所に所属する本件特許出願に係る発明者が業務を行うことができず、手続期間内に□□□□の手続をすることができませんでした。このため、□□□□手続に係る期間を延長してください。